

事務事業評価表 平成22年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
 施策 子育て環境の充実
 基本事業 未就学期児童への支援

事業名 **みどり保育園管理運営費**

[0795]

部名	健康福祉部	事業開始年度	平成19年度	実施計画事業認定	非対象
課名	子育て支援室保育課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) みどり保育園
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 保育所が適切に運営管理される。 弾力的な運用による保育ニーズへの対応を図れる。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) みどり保育園の運営を公設民営とし、維持管理委託及び運営費補助により民間で運営を行う

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	施設数	箇所	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	運営・維持管理経費	千円	7,702	7,065	7,292	6,888
活動指標2						
成果指標1	入所率	%	97.8	104.4	110.6	100
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	7,702	7,065	7,292	6,888
正職員人件費 (B)		千円	1,256	836	830	833
総事業費 (A) + (B)		千円	8,958	7,901	8,122	7,721

費用内訳	
21年度	需用費 261千円、役務費 38千円、委託料 6,197千円、使用料及び賃借料 16千円、工事請負費 528千円、備品購入費 253千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	平成18年6月の江別市社会福祉審議会答申「市立保育園の今後の運営のあり方」において今後の多様な保育ニーズに対応するためには、既存施設の統合を含めた整備計画や民間保育園と市立保育園との役割分担による保育サービスの安定的供給が求められ、そのためには市立保育園の民営化が必要とされた。	事業を取り巻く環境変化	
--------	---	-------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由
・
根拠は？

児童福祉法に基づく保育園の管理運営費である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

保育施設の整備は児童の安全・保護者の安心につながるため、貢献度は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由
・
根拠は？

保育施設を整備し、運営上の支障が生じないようにすることで、高い入所率を保っている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

固定的経費のため。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由
・
根拠は？

施設の老朽化により、修繕費が年々嵩む現状である。